

『臨床検査』 第 30 巻 総目次

1986 年 第 1 号—第 13 号

数字は通巻頁数, () は号数

今月の主題

- 1 号 新生児
- 2 号 免疫不全
- 3 号 凝固線溶系の新しい検査
- 4 号 ヘモグロビン異常
- 5 号 消化と吸収
- 6 号 定量的細菌検査とその臨床的意義
- 7 号 抗核抗体
- 8 号 生体リズム
- 9 号 唾液と汗
- 10 号 病院内感染防止のための細菌検査
- 11 号 (臨時増刊号) 先端技術と臨床検査
- 12 号 (11 月号) 造血器
- 13 号 (12 月号) 眼と耳

カラーグラフ

- 新生児モニター……………前田 一雄・門野 勉
高嶋 幸男・安藤 幸典… 4(1)
- 胎児性腫瘍の組織化学
……………秦 順一・清水 興一… 5(1)
- 免疫不全症の病理……………玉置 憲一・里 悌子… 106(2)
- 血液凝固異常症……………松田 保… 216(3)
- ヘモグロビンの電気泳動
……………網 美代子・宮地 隆興… 326(4)
- 小腸生検……………多田 正大… 448(5)
- 定量的細菌検査とその臨床的意義
……………〈構成〉三輪谷俊夫… 566(6)
- 蛍光抗体法による抗核抗体の測定…東條 毅… 684(7)
- 皮膚温のサーモグラフィ
藤正 巖・満淵 邦彦・鎮西 恒雄
阿部 裕輔・渥美 和彦…………… 802(8)
- 唾液腺、汗腺の腫瘍…福田 芳郎・高木 由紀… 928(9)
- 病院内感染防止のための細菌検査
……………〈構成〉三輪谷俊夫…1054(10)
- 造血器疾患の酵素細胞・組織化学お
よび免疫学的染色法
林 祥剛・浦野 順文……………1742(12)
- 眼球の組織病理標本の作りかた……………沖坂 重邦…1606(13)

技術解説

- 新生児モニター……………前田 一雄・門野 勉
高嶋 幸男・安藤 幸典… 7(1)
- 胎児性腫瘍の組織化学
……………秦 順一・清水 興一… 14(1)

- 未熟児・新生児のサンプリング……………柴田 隆… 21(1)
- インターリュウキンの検査
……………向田 直史・笠原 忠… 109(2)
- 胸腺因子の検査……………岩田 力… 118(2)
- 抗 AIDS ウイルス抗体
……………栗村 敬・川谷 俊夫… 125(2)
- von Willebrand 因子の検査法……………高橋 芳右… 219(3)
- フィブリノペプチド A の検査法
……………巽 典之・巽 陽一・藤井 厚男… 228(3)
- B β 15-42 の検査法 ……長谷川 淳・小熊 豊… 233(3)
- PIVKA の検査法 ……櫻川 信男… 240(3)
- ヘモグロビンの電気泳動
……………網 美代子・宮地 隆興… 329(4)
- ヘモグロビンの液体クロマトグラフ
による分析……………大庭 雄三… 337(4)
- ヘモグロビン異常症の遺伝子解析…服巻 保幸… 347(4)
- CO-Hb 測定法 ……池本 卯典… 357(4)
- 小腸生検法の手技と応用
多田 正大・清水 誠治・岡田 博子
岩破 淳朗・吉中 正人・稲富五十雄… 451(5)
- 消化吸収試験……………細田 四郎・近持 信男… 460(5)
- 尿液検査法……………松野 正紀・宮川 菊雄
久野 弘武・佐藤 寿雄… 469(5)
- 消化管の内圧測定検査
……………高橋 逸夫・伊藤 漸… 477(5)
- 血中細菌の定量法……………藪内 英子・山本 啓之… 569(6)
- 喀痰の定量的細菌検査法
……………松本 慶蔵・渡辺貴和雄… 579(6)
- 尿の定量的細菌検査法
……………村中 幸二・河田 幸道… 587(6)
- 抗菌剤体液中濃度の定量検査法……………西園寺 克… 593(6)
- 下痢便中のエンテロトキシンの検出
法……………本田 武司… 601(6)
- 蛍光抗体法による抗核抗体の測定…東條 毅… 687(7)
- 抗 DNA 抗体の検査…西海 正彦・三浦 隆雄… 693(7)
- 抗非ヒストン核蛋白質抗体(抗 ENA
抗体)の検査
……………長島 秀夫・小出 典男… 700(7)
- 抗ヒストン抗体の検査
……………西間木友衛・粕川 禮司… 706(7)
- 汗の採取法と取り扱い
国友 一史・川人 幹也・古味 信彦… 931(9)
- 唾液の採取法と取り扱い
……………久保木芳徳・藤沢 隆一… 937(9)
- 唾液の臨床化学……………奥田 清… 943(9)

唾液成分の遺伝的多型……………	池本 卯典…	952(9)
唾液中の薬物濃度の測定……………	西原カズヨ…	961(9)
消毒剤の殺菌効果判定法……………	藤本 進…	1057(10)
空中細菌測定法と環境殺菌剤の効果判定法……………	小林 寛伊…	1063(10)
蒸気滅菌, エチレンオキシドガス滅菌での滅菌効果判定法; 特に生物学的モニタリング法……………	古橋 正吉…	1069(10)
環境, 特にハト糞からの <i>Cryptococcus neoformans</i> の分離・同定法……………	松田 良夫…	1077(10)
環境水からのレジオネラ属菌の分離法……………	池戸 正成…	1081(10)
造血管疾患の酵素細胞・組織化学および免疫学的染色法……………	林 祥剛・浦野 順文…	1475(12)
血液幹細胞の検索法……………	久保田一雄・三浦 恭定…	1484(12)
好中球カイネティクス……………	大北 威…	1492(12)
白血球酵素の測定法……………	坂本 忍…	1500(12)
眼球の組織病理標本の作りかた……………	沖坂 重邦…	1609(13)
聴性脳幹反応 (ABR); その概略……………	船坂宗太郎・石井 恵理…	1615(13)
平衡機能検査……………	竹森 節子…	1623(13)
網膜電図……………	渡邊 郁緒…	1631(13)

生体リズム

採血時間と血液成分……………	玄番 昭夫…	806(8)
血清鉄の日内変動……………	刈米 重夫…	810(8)
消化器の生体リズム……………	伊藤 漸…	816(8)
直腸肛門運動……………	小野 慶一・橋爪 正…	820(8)
成長ホルモンの分泌リズム……………	高橋 康郎…	825(8)
男性における LH-テストステロン系および ACTH-コルチゾール系の概日リズム……………	山中 英寿・今井 強一・真下 透…	831(8)
生体リズムとしての睡眠……………	大川 匡子…	835(8)
血糖……………	土井 邦紘・森田須美春・馬場 茂明…	841(8)

総説

新生児の黄疸の病態……………	門野 勉・白木 和夫…	31(1)
AIDS ……………	塩川 優一…	131(2)
凝固線溶反応の中間産物……………	齋藤 英彦…	245(3)
酸素輸送とその調節……………	今井 清博…	363(4)
消化管ホルモンと消化吸収……………	松尾 裕・岩崎 有良・相沢 敏晴	
腸内フローラと疾病……………	田川 博之・加納 誠・安田 守秀…	485(5)
小澤 敦・高橋 靖侑・相場 勇志…		609(6)
抗核抗体の種類とその臨床的意義……………	高野 慎・安倍 達…	711(7)
生体リズムに関する考察……………	中山 昭雄…	845(8)
分泌液の免疫グロブリン……………	小林 邦彦…	971(9)

病院内感染防止のための病院管理の実際; 感染対策委員会の活動を中心……………	熊坂 一成…	1087(10)
免疫と造血; 免疫による造血の調節……………	北村 聖・高久 史麿…	1511(12)
眼と耳の関連……………	上村 卓也…	1641(13)

主題を語る

胎内発育不全児と過期産児……………	仁志田博司・藤井 とし…	40(1)
胸腺の機能について……………	土屋 雅春・玉置 憲一…	138(2)
キニンと凝固線溶……………	安部 英・大石 幸子…	252(3)
異常ヘモグロビンの発見から分子生物學へ……………	柴田 進・山本きよみ…	372(4)
抗核抗体の検出法……………	東條 毅・三浦 隆雄…	720(7)
生体酵素の日内リズム……………	奥田 拓道・斉藤 昌之…	850(8)
病院内感染防止のための細菌検査……………	神木 照雄・小栗 豊子…	1096(10)
一般病院における骨髓移植をめぐつて……………	土肥 博雄・日野 理彦…	1522(12)
めまいの検査……………	鈴木 淳一・森山 春子…	1648(13)

検査と疾患—その動きと考え方—

新生児の感染症……………	植田 浩司・安慶田英樹…	47(1)
続発性免疫不全症……………	加納 正…	147(2)
血液凝固異常症……………	松田 保・伊藤 恵子・上田 幹夫	
神野 正敏・朝倉 英策・日月香代子		261(3)
北尾 武……………	今村 孝…	381(4)
サラセミア症群……………	長崎 明男・正宗 研…	493(5)
吸収不良症候群……………	谷本 普一…	617(6)
慢性気管支炎と起炎菌の決定……………	柴田 整一…	729(7)
結節性動脈周囲炎……………	古味 信彦・国友 一史・川人 幹也…	981(9)
Cystic fibrosis……………	柴田 弘俊…	1105(10)
白血病の治療と感染症……………	村瀬 忠…	1531(12)
骨髓移植……………	松井 瑞夫…	1655(13)
網膜症……………		

座談会

わが国における免疫不全症の現況……………	早川 浩・加納 正・島田 馨	
<司会>矢田 純一……………		156(2)
凝固線溶系の新しい検査……………	松田 道生・鈴木 宏治・池松正次郎	
風間 睦美・<司会>青木 延雄……………		268(3)
消化と吸収の生理と病態……………	原 泰寛・朝倉 均・正宗 研	
伊藤 漸・<司会>星 猛……………		500(5)
定量的細菌検査とその臨床的意義……………	清水喜八郎・藪内 英子・河田 幸道	

〈司会〉松本 慶蔵……………	622(6)
体内時計の謎	
森本 靖彦・高橋 清久・大村 裕	
〈司会〉中川 八郎……………	858(8)
唾液、汗などによる臨床検査の将来	
奥田 清・大久保昭行・菊地 真	
〈司会〉高原喜八郎……………	988(9)
臨床検査からみた造血器：機能と検査法	
石川 昭・溝口 秀昭・平嶋 邦猛	
〈司会〉柴田 昭……………	1540(12)

癌細胞診

体腔液・1：各種高分化腺癌細胞の 組織学的背景……………	桜井 幹己…	71(1)
体腔液・2：小型および大型多形悪 性細胞の組織学的背景……………	桜井 幹己…	181(2)
リンパ節……………	社本 幹博・舟橋 正範…	291(3)
前立腺癌：穿刺吸引細胞診 坂本 穆彦・都竹 正文・平田 守男…		405(4)
脳腫瘍…藤井 雅彦・崎山 嗣雄・高橋 正宜…		527(5)
ウイルス感染症……………	石東 嘉男…	645(6)

生体蛋白質の検査法

臨床診断における体液蛋白質の定量 法とその将来		
滝沢 徳正・山内 惇一・堀尾 武一…	57(1)	
蛋白質定量法の種類とその特徴…	副島 正美…	170(2)
ヒト生体試料中の蛋白質定量の特殊 性と取り扱い上の問題点		
……………	亀山 恒夫・川崎美津子…	279(3)
Kjeldahl 法による窒素の定量		
……………	早川 清一・鈴木 平光…	393(4)
ビウレット法による定量…	菅原 潔…	514(5)
フェノール試薬法(Lowry 法)によ る定量…	吉田 文男・樋口 正…	633(6)
紫外線吸収測定法による微量定量法		
……………	鈴木 建夫・目黒 熙…	739(7)
色素を用いる微量定量		
……………	中尾 順子・芝 紀代子…	877(8)
蛍光法による微量定量…	木下 俊夫…	999(9)
免疫学的微量定量…	石川 榮治…	1113(10)
放射性物質を用いた微量定量法…	西尾 康二…	1551(12)
臨床医学の進歩と生体蛋白質定量法 のありかた…	村地 孝…	1665(13)

超音波診断

眼科……………	太根 節直…	66(1)
甲状腺……………	植野 映・東野英利子…	176(2)
乳腺……………	田中 一成・竹原 靖明…	286(3)
心臓・1：先天性疾患		
……………	里見 元義・高尾 篤良…	400(4)

心臓・2：弁膜疾患……………	別府慎太郎…	522(5)
心臓・3：心筋疾患……………	山口 徹…	640(6)
胆嚢・胆管		
……………	竹原 靖明・久田 祐一・山田 清勝…	746(7)
肝臓・脾臓……………	秋本 伸…	884(8)
膵臓……………	木本 英三…	1006(9)
腎臓……………	北原 聡史・岡 薫・竹原 靖明…	1119(10)
膀胱・前立腺；経腹壁的		
……………	岡 薫・大橋 英行・竹原 靖明…	1558(12)
子宮・卵巣……………	岡井 崇…	1671(13)

微量元素の検出法

必須微量元素分析法……………	野本 昭三・下里 文子…	751(7)
毒性金属の分析……………	和田 攻・真鍋 重夫	
……………	柳沢 祐之・郭 新彪…	889(8)
金属キレートによる微量元素分析……………	内海 昭…	1011(9)
体液中亜鉛の定量……………	玄番 昭夫…	1124(10)
毛髪中の微量元素分析……………	内田 弘…	1563(12)
組織中微量金属の染色法		
……………	鷺見 和・増田 紀子…	1677(13)

質疑応答

〔臨床化学〕

抗凝固剤の種類と血糖値……………	上野 一郎…	87(1)
保存条件の脂質測定に与える影響		
……………	栢森 裕三・片山 善章…	88(1)
VMA 定性検査における偽陰性反応		
……………	川上 圭子…	90(1)
電極法による電解質測定……………	高原喜八郎…	91(1)
正常尿中のアルブミン測定法……………	飯村 康夫…	197(2)
ガストリン検査への食事の影響とガストリンの日内変動……………	松尾 裕…	198(2)
GOT, GPT の測定単位の変更 ……	大久保昭行…	307(3)
LDH が高値の場合のアイソザイム		
検索……………	須藤加代子…	308(3)
人工透析患者の低 LCAT 活性 ……	湯川 進…	309(3)
抗凝固剤が臨床化学検査に及ぼす影響……………	中山 年正…	311(3)
Good Buffer の特徴 ……	関 知次郎…	314(3)
SOD の測定法および臨床的意義 ……	三宅 可浩…	315(3)
α -フェトプロテイン検査 ……	大澤 進…	429(4)
血清分離までの時間とカリウム値……………	坂岸 良克…	430(4)
CRP の定量分析 ……	菅野 剛史…	547(5)
酸素結合性免疫グロブリンの発生頻度……………	長嶺 光隆…	548(5)
総脂質の測定法……………	山田 俊幸・櫻林郁之介…	665(6)
胃液 pH の測定法……………	石井 暢…	666(6)
人間ドックの OGTT ……	梶沼 宏…	667(6)
コントロール血清の溶解と使いかた		
……………	中 甫…	668(6)
全血を用いた電解質測定の基準値は		
……………	桑 克彦…	783(7)

イオン電極法による電解質測定に影

響を及ぼす因子…井上 裕二・高橋 浩… 909(8)

髄液クロールの臨床的意義とその異

常値発現のメカニズム……………三宅 一徳…1035(9)

胆嚢・胆管造影剤の血清尿酸値に及

ぼす影響……………加賀美年秀…1036(9)

リボ蛋白質リパーゼの測定法…福井 巖…1153(10)

血清乳糜の影響の検討法は……………池田 清子…1587(12)

トランスフェリン(Tf)と鉄結合能 …齊藤 宏…1701(13)

尿中酸可溶性蛋白質……………芝 紀代子…1703(13)

〔血液〕

血液像における単球とリンパ球との

違い……………日野 志郎… 92(1)

凝集阻止試験の操作法……………古川 研… 94(1)

抗凝固剤の使い分け…巽 典之・藤井 厚男… 431(4)

血液凝固検査用血液の取り扱い……………羽田 雅夫… 549(5)

血液透析中の白血球減少……………鈴木 好夫… 550(5)

肝硬変患者における FDP の高値は

……………小林 紀夫… 552(5)

トロンボモジュリンとは……………丸山 征郎… 784(7)

アンチトロンビンⅢ異常症……………桜川 信男… 785(7)

赤血球沈降速度(赤沈)測定は必要か

……………磯貝 行秀… 911(8)

望ましい血小板算定法は……………鯉江 捷夫…1156(10)

プラスミノゲン異常症……………風間 睦美…1157(10)

フィブリノゲンの測定法……………松田 道生…1158(10)

多発生骨髄腫患者血液の特徴ある固

まりかたの機序……………戸川 敦…1160(10)

一次線溶と二次線溶との鑑別……………風間 睦美…1588(12)

〔輸血〕

交差適合試験で自己対照が凝集……………竹内 直子… 317(3)

自己の対照がすべて〔+〕の場合……………竹中 道子… 554(5)

血液型転移酵素の由来……………山本 茂… 913(8)

オモテ試験 B 型, ウラ試験抗 A 抗

体欠損のため AB 型の検査法…松沢 茂隆…1038(9)

A₁ B_m の輸血適合血は……………遠山 博…1039(9)

〔免疫血清〕

抗体感作ラテックス試薬の作製……………笠原 和恵… 433(4)

Oligoclonal bands ………………櫻林郁之介… 555(5)

IgA の測定法による稀釈倍率の違い

……………大谷 英樹… 556(5)

ラテックス法における抗原, 抗体の

吸着法……………鈴木 達男… 670(6)

EIA 法におけるモノクローナル抗

体の利点, 欠点……………伊藤 忠一… 787(7)

血清中の型物質の由来……………大久保康人… 788(7)

抗精子抗体……………繁田 実… 789(7)

リンパ球分離時の単球の除去法……………伊藤 忠一…1041(9)

担体粒子の選択的結合性……………河合 忠…1042(9)

CRP はなぜ胎盤を通過しないのか

……………川端 真人…1161(10)

血清と髄液による梅毒血清反応の差

……………遠井 初子・浅川 英男…1705(13)

新生児の梅毒反応……………中村 正夫・西田 信一…1706(13)

人工担体を用いた試薬の特徴……………笠原 靖…1707(13)

〔微生物〕

SS 寒天生地地の保存法の変化……………榎本 省二… 318(3)

腸内細菌の呼称の変更……………桑原 章吾… 671(6)

〔病理〕

ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)

の組織学的証明法

……………岩田 正晴・佐々木 寛

山内 茂人・久慈 直史… 199(2)

ジアゾニウム染色による腫瘍細胞の

鑑別

……………河又 國士・大友 幸二・松本 武夫…1589(12)

〔臨床生理〕

入眠薬の睡眠賦活脳波検査への影響

……………本間伊佐子… 201(2)

心電図における電位の意味……………外山 淳治… 319(3)

Holter 心電図の実施法……………沼澤てるひこ… 435(4)

呼吸ガス分析と臨床意義……………鶴沢 毅… 557(5)

Omniscope ………………鈴木 豊… 672(6)

肺機能検査データの総合評価……………神辺 眞之… 674(6)

Holter 心電図……………田村 康二… 676(6)

体プレチスモグラフ……………福永 寿晴… 790(7)

食道超音波内視鏡の特徴……………田内 潤… 914(8)

三叉神経誘発電位……………白井 康之… 915(8)

ペクトル心電図の今日的意義……………村田 和彦…1162(10)

尿沈査での円柱の観察法

……………金子 良孝・伊藤 機一…1164(10)

心房細動における心室性期外収縮と

変形伝導の鑑別……………小沢友紀雄…1593(12)

N₂ 洗い出し法とコンパートメント

解析……………前田 次郎…1709(13)

脳波検査における電極配置の場所と

記号; 10-20 電極法における追

加電極について……………福澤 等…1711(13)

〔一般検査〕

PSP 試験の尿混濁除去方法

……………佐々木匡秀・雑賀 光一… 96(1)

尿円柱の生成場所は……………今井 宣子・折田 義正… 97(1)

テストテープの反応様式……………奥田 清… 203(2)

前立腺液の鏡検所見; 前立腺炎を中

心として……………鈴木 恵三… 204(2)

尿中蛋白質濃度と円柱の出現との関

係……………松尾 保… 207(2)

尿の潜血反応……………林 康之… 918(8)

Rivalta 反応とヘパリンの有無

……………大谷 英樹・染谷 洋子… 918(8)

尿と血液との pH 変動幅の差……………宮 哲正…1043(9)

シュウ酸カルシウムの尿沈渣の形状

……………松村 義寛…1044(9)

ビリルビンとウロビリノゲン……………林 康之…1594(12)

[診断学]

Zollinger-Ellison 症候群の検査	……………竹本 忠良・水町 宗治…	208(2)
Bence Jones 蛋白検出時の解釈	……………鉢村 和男・大谷 英樹…	437(4)
リンパ球, 好中球の増加の機序……………外岡 立人…	439(4)	
ヘパプラスチンテスト低値と肝機能		
低下……………上野 幸久…	441(4)	
肝硬変と DIC……………藤原 研司・正木 尚彦…	558(5)	
HBe 抗原, HBe 抗体の意義……………飯野 四郎…	793(7)	
脂質と対応する病名の見直し		
……………山村 卓・山本 章…	919(8)	
リポ蛋白亜分画時の各脂質の臨床的		
意義……………板倉 弘重…	921(8)	
造血剤の投与と血清鉄の変動……………刈米 重夫…	1046(9)	
mixed leukemia (hybrid leuke-		
mia) とは……………柴田 昭・高橋 益広…	1047(9)	
モノクローナル抗体とそれによる診		
断……………稲治 英生・森 武貞…	1596(12)	
ALP の異常値の解釈……………大場 康寛…	1597(12)	
慢性リウマチ患者の症状と検査デー		
タ……………東 威…	1599(12)	

研究

新しい市販簡易同定キットによる嫌		
気性菌同定の評価		
奥田新一郎・斎藤 篤・宮原 正		
渡辺 邦友・上野 一恵……………	75(1)	
実験動物群による脾臓細胞質抗体		
(ICA) 検査の検討		
杉浦 正彦・始澤 美幸・丸山 昭治		
中沢 道夫・笠原 督・高橋 明		
三宅清兵衛……………	185(2)	
Clq 固相エンザイムイムノアッセイ		
法による血中免疫複合体の測定		
……………森山 隆則・信岡 学…	295(3)	
血友病患者における血清グアナーゼ		
活性の検討……………大久保 進・安永幸二郎		
森 敏子・石田 萌子…	409(4)	
造血管系悪性腫瘍における骨髓中カ		
ルシウム, リン, 銅および亜鉛		
量……………小堀 一二・荒井 正夫・小林 利次		
佐藤 斉・原武 譲二……………	413(4)	
脳波基準電極導出“平衡型頭部外基		
準電極法”の研究; 心電図雑音		

の除去に関する基準電極部位の		
検討……………阪本 實男…	531(5)	
唾液の臨床生化学検査; 第 1 報 検		
査項目の検討		
水島 愛子・藤沢 隆一・久保木芳徳…	537(5)	
p-フェニレンジアミンを用いた血		
清セルロプラスミンのオキシダ		
ーゼ活性測定の変法について		
……………三浦 利彦・千葉 正康		
寺崎 茂・大内 栄悦…	649(6)	
Simplate 法による出血時間の検討		
……………毛利 博・荏原 茂…	653(6)	
慢性関節リウマチ関節液における酸		
可溶性糖蛋白質測定の臨床的意		
義……………村山 隆司・中崎 聡…	755(7)	
健常者リンパ球の Leu 7, Leu 11 陽		
性細胞比率と K 562 および PC		
-1 を用いた NK 細胞活性との		
相関		
賀川 裕子・宿谷 和男・神保 聖一		
松村 利徳・河井 明夫・松田 重三…	758(7)	
ナフトール AS-D クロロアセター		
トエステラーゼ染色; パラロー		
ザニリン色素を使用する Li 法		
の変法と染色性		
引野 利明・福田 利夫・町並 隆生…	761(7)	
各種疾患における血中 PIVKA-II		
測定の意義		
山下 勉・竹元久美子・古川 好美		
永野 貞明・三村 幸一・松岡 瑛…	895(8)	
リントングステン酸処理による		
Holzer 染色の検討		
……………近藤ひろみ・山下つや子		
羽賀 千恵・松下 正明…	900(8)	
ヤマカガシ(<i>Rhabdophis tigrinus</i>)		
咬傷後の脳出血による死亡例		
村瀬 久・長谷川洋治・小川 弘俊…	1017(9)	
フローサイトメトリーによる流血中		
のリンパ球, 単球, 顆粒球の絶		
対数測定……………平田 稔・三浦真理子…	1135(10)	
免疫固定電気泳動法を応用した HDL		
-apoE 定量法……………池田 裕…	1139(10)	
グリコヘモグロビン測定における不		
安定グリコヘモグロビン簡易除		
去法の検討……………小田 幸生・中塚 親司…	1569(12)	
聴覚脳幹反応の両側同時記録に関す		
る検討……………川名ふさ江・石山 陽事		
中西 成元・橋本 勲…	1681(13)	
血小板内ヌクレオチドの検討; 生物		
蛍光法を用いて……………毛利 博…	1687(13)	
血清脂質値に及ぼす食事の影響		
永井 晴美・柴田 博・松崎 俊久…	1691(13)	

資 料

乳癌マーカー, CA 15-3 の基礎的・

臨床的検討

桑原 正喜・有吉 寛・須知 泰山

太田 和雄・福島 雅典…………… 81(1)

α -アミラーゼ活性測定におけるア

ルブミンの影響について

渡辺 弘子・神田・進司・金子 誠

加藤 栄司・須藤加代子・菅野 剛史… 189(2)

エンザイムイムノアッセイ法による

淋菌感染症の診断

吉沢 花子・前川 朱美・橋爪 壮

大谷かおる・柑上 真乃…………… 191(2)

非発酵菌用・短時間同定キットノン

ファグラム(テルモ)の検討;第

1報 基礎的検討……………狩山 英之… 301(3)

非発酵菌用・短時間同定キットノン

ファグラム(テルモ)の検討;第

2報 臨床分離株での試験……………狩山 英之… 418(4)

ELISA 法による風疹 IgG, IgM 抗

体測定の基礎的検討

萩原 薫・大塚 芳子・安藤 泰彦… 423(4)

ELISA 法による風疹 IgG, IgM 抗

体の診断的意義……………萩原 薫・安藤 泰彦… 541(5)

心電図感熱式記録紙の変色防止対策

に関する検討……………白井 康之・石山 陽事… 657(6)

パーソナルコンピュータによる病理

検査材料の簡単かつ実用的な管

理システムについて

……………岡村 明治・斎藤 志郎

佐々木茂生・伊藤 裕子… 661(6)

血清フェリチン測定キット 6 種類の

評価……………小島 司・北村 元仕… 767(7)

ラジオイムノアッセイによる神経特

異エノラーゼ測定の基礎的検討

と神経芽細胞腫スクリーニング

への応用

福士 勝・荒井 修・水嶋 好清

花井 潤師・高杉 信男・武田 武夫… 773(7)

ピロガロールレッド-モリブデン錯

体試薬を用いる尿および髄液の

蛋白質定量法……………渡辺 信子・亀井 幸子

大久保昭行・山中 學… 778(7)

全血検体でも検出可能な CRP テス

ト「三和」Latex の検討

妹尾よしみ・佐々木勝一・山岸 安子

岩田 弘・河合 忠…………… 904(8)

3,3',5,5'-テトラメチルベンジジン

によるペルオキシダーゼ染色法

……………小穴こず枝・野本 昭三…1021(9)

試験管固相サンドイッチ RIA 法に

よる TSH 測定法の検討

……………中島・公雄・松井 順子

中川 富恵・関口 昌之…1025(9)

ATLA 抗体検出のための新しい凝

集反応試薬の評価

小林 進・吉田 勉・山本きよみ

藤田 一之・渡辺 和彦・山本 直樹…1143(10)

新しい免疫学的便潜血検査法(固相

吸着酵素免疫法)の紹介

多田 正大・杉原千鶴子・三好 博子

浅野寿美子・三宅雄一郎・内田 壱夫

松瀬 亮一・豊田 恵波……………1147(10)

幼裂頭条虫症の 1 例……………宮原 道明・清水万喜生…1573(12)

ヒトアルカリホスファターゼアイソ

ザイムの鑑別法……………菰田 二一・三浦 雅一

小山 岩雄・海上 智…1575(12)

ATB 32 GN 自動細菌同定システム

による非発酵 Gram 陰性桿菌

229 株の同定成績

山本 啓之・井戸 好美・藪内 英子…1580(12)

バイオテスト 1 号自動判読装置

BACTOSENSOR TB201 の有

用性

中塩 哲士・宮本 豊一・色川 千晴

坂間 重宏・岩松 里美・原沢 功

稲島 裕子・中村 正夫……………1695(13)

編集者への手紙

新しい万能, 無臭性固定液“マスキ

ドホルム液”の検討

……………笠原 正男・八木 彌人… 875(8)

新しい便潜血検査

山田 誠一・山田利津子・山本 光祥

藤江 一・高橋 光辰・中村 正夫…1134(10)

臨時増刊・11 号<先端技術と臨床検査>

序……………山中 學…1173

I 画像診断

1 二核種同時シンチグラフィーによ

るリンパ節の観察

……………小林 裕・小沢 勝

丸尾 直幸・近藤 元治…1176

2 高性能画像解析法の病理検査

への導入……………吉見 直己・丹羽 憲司

日野 晃紹・高橋 正宜…1183

3 MRI の臨床展望……………宮坂 和男・入江・五朗…1189

4 癌の生長速度と腫瘍倍加時間

酒井 邦夫・小野田幾雄・椎名 真…1198

5 血管内視鏡による動脈血栓の観察

……………内田 康美・杉本 恒明…1203

6 電磁図

① 脳磁図	上野 照剛	1209
② 心磁図	内川 義則・小谷 誠	1213
③ 肺磁図	山谷 睦雄・佐々木英忠・滝島 任	1219
II 顕微鏡		
1 超音波顕微鏡	田中 元直・大井川宏明	1226
2 免疫組織化学の軟部腫瘍診断への 応用とその限界	高桑 俊文・大沼 繁子・牛込新一郎	1234
3 電子顕微鏡		
① エネルギー分散型X線分析装置	水平 敏知	1239
② 定量電子顕微鏡	堀田 康明・渡 仲三	1248
③ 標識レクチン結合体による糖鎖 の電顕的観察	森山 信男・新島 端夫	1251
III フローサイトメトリー		
1 フローサイトメトリーと細胞動態	高橋 学	1258
2 フローサイトメトリーによる癌化 学療法の分析	高本 滋	1266
3 Two-color flow cytometry を用い たリンパ系疾患の解析	中原 一彦	1271
IV 遺伝子工学		
1 医学と遺伝子工学	長野 敬	1278
2 DNA プローブ検査	野島 博	1287
3 <i>In-situ</i> ハイブリダイゼーション法 による遺伝子検索	小林 信之	1296
4 遺伝子の多型性(ポリモルフィズ ム)と疾患	井川 洋二	1303
V 生体機能と測定技術		
1 体温	辻 隆之	1310
2 サークアディアンリズム	川村 浩	1315
3 血流計測	梶谷 文彦・小笠原康夫・辻岡 克彦	1320
4 テレメトリー	松本 伍良	1326
5 胎児情報	坂元 正一・井口 佳代・高木耕一郎 中林 正雄・武田 佳彦	1332
6 バイオリアクター	村地 孝	1337
7 高感度 EIA	石川 榮治	1343
VI 新素材		
1 ラテックス粒子	三谷 勝男	1350
2 界面活性剤	鎌田 薩男	1355
VII モノクローナル抗体		
1 モノクローナル抗体による血液腫 瘍性疾患の鑑別	飛内 賢正・関 茂樹・稲葉 敏 湊 啓輔・下山 正徳	1362
2 モノクローナル抗体による癌細胞 抗原の解析	益子 高・橋本 嘉幸	1369
VIII 血液		
1 赤血球粒度分布曲線および分布幅 の測定とその意義	新谷 和夫	1376
2 白血球三峰性粒度分布の測定とそ の意義	巽 典之・津田 泉 木村雄二郎・前田 宏明	1382
IX 染色体		
1 染色体分析の現状と展望	阿部 周一	1390
2 初期絨毛による胎児染色体分析法	林 研・菊地 清	1400
3 高精度分染法	阿部 達生・堀池 重夫	1406
X 微生物		
1 微生物同定検査法の新しい試み		
① 蛍光抗体法のウイルス感染症診 断への応用	倉田 毅・佐多徹太郎・佐藤 由子	1414
② 化学分類学への応用	矢野 郁也	1421
③ DNA プローブに対する相同性を 利用した方法	吉川昌之介	1428
④ 毒素および特異代謝産物の免疫 学的微量定量法への応用	本田 武司	1436
2 腸内フローラ研究の流れ	光岡 知足	1441
3 AIDS とそのウイルス学的検査法	栗村 敬	1448
XI 座談会		
先端技術と臨床検査の進歩	〈司会〉山中 學 河合 忠・北村 元仕・林 康之 三輪谷俊夫・高橋 正宣・江部 充	1453
〔わだい〕		
モノリシック LSI	松尾 正之	1188
パソコン・ネットワークシステムの問題 点	松田 信義	1197
DNA コロニーハイブリダイゼーション 法による毒素遺伝子の検出	西渕 光昭	1207
軟部腫瘍診断への免疫組織化学の応用	高桑 俊文・大沼 繁子・牛込新一郎	1208
電子内視鏡による消化管内視鏡検査	鈴木 邦夫・郡 大裕	1233
二次イオン質量分析機(SIMS)による組 織内微量金属の測定	只野寿太郎	1238
免疫組織化学の展望	名倉 宏	1256
危険な好塩性ビブリオ <i>Vibrio damsela</i>	余 明順	1265
<i>Campylobacter jejuni</i> の産生する細胞毒 素の検出	辻 孝雄	1276
EIA はどこまで微量を測れるか	石川 榮治	1302
生体ポリアニオンセンサー	梅澤 喜夫	1331
リウマトイド因子の定量	向田 直史	1336
レクチン親和電気泳動法の臨床応用	武田 和久	1348
オムニスコープ	鈴木 豊	1360
レーザーファイバースコープによる癌の 早期診断	小中 千守・加藤 治文・早田 義博	1388
エラストマー	松田 武久	1452

TOPICS

米国微生物学会主催 ICAAC 学会か

ら……………本田 武司… 55(1)

糖尿病母体の胎児に与える影響；ヘ

モグロビンジーン・スイッチン

グの遅延……………丸山 昭治… 55(1)

免疫組織化学染色キット……………長村 義之… 56(1)

出血性大腸炎をきたす大腸菌 O157

：H7の検出法……………本田 武司… 167(2)

電氣的房室結節・His 束切断術……………桜田 春水… 167(2)

上皮増殖因子(EGF)レセプター……………丸山 昭治… 168(2)

インスリン自己抗体……………丸山 昭治… 277(3)

リボ蛋白動態の解明進む……………中 恵一… 277(3)

AIDS virus(エイズウイルス)……………荻野 武雄… 278(3)

標準化が望まれる RIA, EIA……………中 恵一… 390(4)

酵素抗体法による腫瘍マーカーの検

出……………長村 義之… 390(4)

酵素抗体法による未分化癌の鑑別診

断；EMA, LC 抗原の検出 ……長村 義之… 512(5)

心房性ナトリウム利尿ホルモン

(ANP)……………丸山 昭治… 513(5)

経皮的冠動脈形成術(PTCA)……………桜田 春水… 631(6)

5'ND の新しい測定法……………中 恵一… 631(6)

Multiple Sleep Latency Test によ

る睡眠・覚醒障害の診断……………野沢 胤美… 737(7)

細胞診における酵素抗体法の応用；

(5)検出可能な抗原……………長村 義之… 738(7)

イムノアフィニティを用いたウイ

ルス核酸検出法……………荻野 武雄… 869(8)

突然の心停止例に対する病院外での

心肺蘇生……………桜田 春水… 869(8)

ループス抗凝血素……………網野 信行・本射 滋己… 870(8)

Clostridium difficile の産生する毒

素の市販キットによる検出と問

題点……………本田 武司… 871(8)

糖化血清蛋白質の新しい測定法……………中 恵一… 997(9)

Holter 心電図記録中の突然死……………桜田 春水… 997(9)

尿中白血球百分率観察の臨床的意義

……………伊藤 機一… 998(9)

検査の pit-fall……………菅野 剛史…1130(10)

血清フルクトサミン測定；グリコブ

ロテインアッセイ……………丸山 昭治…1130(10)

流行性角結膜炎の病因アデノウイル

ス……………荻野 武雄…1131(10)

自動 DNA シーケンス解析法……………丸山 昭治…1549(12)

ウイルスワクチンとしての抗イディ

オタイプ抗体……………荻野 武雄…1549(12)

アルドース還元酵素阻害剤

……………下條 信雄・中 恵一…1550(12)

Fluorescence Photobleaching

Assay；ギャップジャンクシヨ

ンを介する細胞・細胞間伝達の

新しい測定法……………丸山 昭治…1663(13)

経口コレラ(死菌+B サブユニット)

ワクチンのバングラデシュにお

ける野外実験成績……………本田 武司…1663(13)

医学の中の偉人たち

Hippocrates……………飯野 晃啓… 86(1)

Claudius Galen……………飯野 晃啓… 196(2)

Andreas Vesalius……………飯野 晃啓… 306(3)

Arbroise Paré……………飯野 晃啓… 428(4)

William Harvey……………飯野 晃啓… 546(5)

Edward Jenner……………飯野 晃啓… 664(6)

Ignaz Philipp Semmelweis……………飯野 晃啓… 782(7)

Louis Pasteur……………飯野 晃啓… 908(8)

Wilhelm Konrad Röntgen……………飯野 晃啓…1034(9)

Robert Koch……………飯野 晃啓…1152(10)

Paul Ehrlich……………飯野 晃啓…1586(12)

Alexander Fleming……………飯野 晃啓…1700(13)

私のくふう

フィルターストリップの簡単に効果

的な洗浄技術

高橋 豊三・福島 淳・重松 貢

秋本 一郎・奥田 研爾…………… 510(5)

携帯用恒温箱……………鹿川 攻… 540(5)

電顕包埋法における一方法

……………引野 利明・町並 陸生… 766(7)

ウラン-鉛染色法におけるパラフィ

ルムの応用……………引野 利明・福田 利夫… 903(8)

心電図誘導コードの改良……………中島 康雄…1132(10)

免疫電気泳動用ホルダー……………森 徳雄…1133(10)

書 評

日常検査法シリーズ・1『尿沈渣』

改訂第5版……………伊藤 機一… 80(1)

“A Handbook of Exfoliative

Cytology”……………藤井 雅彦… 117(2)

『血清酵素の異常 病態へのアプロ

チ』……………高阪 彰… 124(2)

“Colour Atlas of Histopathology”

3rd ed.……………浦野 順文… 130(2)

『血液ガスの測定原理と実際』……………諏訪 邦夫… 155(2)

『肺癌の細胞診 臨床病理学的アプロ

ーチ』……………早田 義博… 169(2)

『血液ガスの測定原理と実際』……………河合 忠… 300(3)

『臨床診断学 検査編』第2版……………橋本 信也… 336(4)

『血液ガス わかりやすい基礎知識と

臨床応用』……………横山 剛… 346(4)

“Hematology, The Blossoming of a Science; A story of Inspiration and Effort”	三輪 史朗	362(4)
『超高感度高速液体クロマトグラフィ』	桜井 靖久	398(4)
“HEMOSTASIS; A Case Oriented Approach”	野村 武夫	417(4)
『腸管系病原菌の検査法』第4版	島田 馨	422(4)
『血清酵素の異常 病態へのアプローチ』	岡 博	442(4)
『検査技師のための英語』	常田 正	545(5)
『検査技師のための英語』	氏家 幸	722(7)
『微生物学』第5版	柳原 保武	893(8)
『脳波判読 step by step』入門編, 症例編	平賀 旗夫	970(9)
『微生物学』第5版	南嶋 洋一	979(9)
新臨床検査技師講座・8『生化学』	北村 元仕	980(9)
『医学細菌学 第1巻』	河合 忠	1029(9)
新臨床検査振師講座・8『生化学』	芝 紀代子	1151(10)
『ハッピーメディカルベーシック医師のための実用プログラム集』	岡島 光治	1510(12)
『外科病理学入門』	並木 悦夫	1530(12)
『図説 組織病理学』第6版	福西 亮	1572(12)
『外科病理学入門 パターン分類による診断へのアプローチ』	室谷 光三	1640(13)
『絵でみる血栓・止血のメカニズム』	藤巻 道男	1694(13)

海外文献紹介

ウイルス感染症のときの血清 β_2 M と CRP	吉野 二男	29(1)
血液ガスと pH の精度	吉野 二男	29(1)
血液ガス測定の基準	吉野 二男	30(1)
血液ガス測定の正確度	吉野 二男	30(1)
検体の取り扱いによって生ずる血液ガス, pH の誤差	吉野 二男	30(1)
左室機能低下例における冠動脈バイパス手術の成績	谷川 直	39(1)
急性うっ血型心筋症の原因としての急性心筋炎	谷川 直	39(1)
肥厚性心筋症における大動脈弁下狭窄の動態; パルス Doppler 法による解析	谷川 直	39(1)
Guillain-Barré 症候群における横隔膜神経伝導時間	小島 進	146(2)
手根管症候群の診断における手掌刺激による順行性知覚活動電位	小島 進	146(2)
第 6, 7 頸髄神経根障害における橈側手根屈筋での H 波	小島 進	146(2)
アズール B・エオジン Y 染色液の安定性	吉野 二男	194(2)

キシレンの代用品の使用経験	吉野 二男	194(2)
病理検査室の精度管理	吉野 二男	194(2)
血液ガス測定の精度管理	吉野 二男	195(2)
Papanicolaou 標本で異常ということとは	吉野 二男	195(2)
組織片の脱灰の程度	吉野 二男	195(2)
創傷より分離された <i>Vibrio damsela</i> の 2 溶血型について	山本 啓之	259(3)
好熱性細菌: 新しい病原性細菌	山本 啓之	259(3)
クレアチニン測定における妨害物質の回避法	村上 賢二	276(3)
Ektachem 400 による尿中クロル測定法	村上 賢二	276(3)
慢性大動脈弁閉鎖不全症の心エコー図からみた予後の再評価	谷川 直	356(4)
狭心症におけるジピリダモール負荷心エコー図	谷川 直	356(4)
急性心筋梗塞後早期の冠動脈造影所見と左室機能	谷川 直	371(4)
冠動脈完全閉塞例における血管拡張術	谷川 直	371(4)
喫煙者の血清中の胎盤型の ALP	吉野 二男	388(4)
喫煙と血小板粘着能	吉野 二男	388(4)
テクニコン RA-1000 の使用経験	吉野 二男	391(4)
尿比重の試験紙法	吉野 二男	391(4)
ナフトールブルーブラック染色によるリン脂質定量法	村上 賢二	459(5)
Dry Reagent による血中テオフィリン測定の評価	村上 賢二	468(5)
回転式血沈計による小児の測定値	吉野 二男	476(5)
CRP と ZSR	吉野 二男	476(5)
アルカリホスファターゼだけが高値	吉野 二男	484(5)
非経口的栄養は臓器をだめにする	吉野 二男	491(5)
僧帽弁逸脱症の長期予後	谷川 直	492(5)
心筋梗塞後の Q 波の有無と心室性期外収縮	谷川 直	492(5)
選択的冠動脈血管形成術を受けた患者の院内の罹病率	谷川 直	492(5)
血液銀行の将来	吉野 二男	499(5)
二次元心エコー図と Doppler 法を併用しての大動脈弁口面積の評価	谷川 直	592(6)
前立腺性酸ホスファターゼ測定の四つの方法の比較	吉野 二男	608(6)
電解質測定の現況と将来	吉野 二男	608(6)
空腹にさせると血清クレアチニンは高い値が出る	吉野 二男	608(6)
頸部に放射線を当てた後の血清カルシウム	吉野 二男	621(6)
アルブミンおよび α_2 M と結合した血清中の亜鉛	吉野 二男	621(6)

肝疾患における定量的脳波分析と生	
存……………小島	進… 632(6)
発作時頭皮脳波による焦点局在の精	
度と信頼性……………小島	進… 632(6)
冠動脈バイパス手術時のQ波の出現	
しない心筋梗塞について……………谷川	直… 652(6)
神経クリニックにおける24時間移	
動性脳波・心電図モニタリング	
の評価……………小島	進… 656(6)
慢性アルコール症の脳幹聴性誘発反	
応……………小島	進… 656(6)
心内膜下梗塞の病理と心電図所見…谷川	直… 705(7)
血中の鉛と血圧……………吉野	二男… 709(7)
便の電解質と浸透圧……………吉野	二男… 710(7)
テトラメチルベンチジンをを用いた潜	
血反応……………吉野	二男… 710(7)
骨髄腫円柱……………吉野	二男… 710(7)
尿の検査は試験紙で十分か……………吉野	二男… 728(7)
急性心筋梗塞の患者における壁圧血	
栓の予後に対する重要性和自然	
歴……………谷川	直… 809(8)
自動血球計数機の活用……………吉野	二男… 936(9)
好酸球増多症を起こす原因……………吉野	二男… 942(9)
腹膜透析中の患者の好酸球増多症…吉野	二男… 942(9)
コールドター S-Plus IV 型……………吉野	二男… 951(9)
冠動脈完全閉塞例における血管拡張	
術……………谷川	直…1015(9)
急性心筋梗塞後早期の冠動脈造影所	
見と左室機能……………谷川	直…1020(9)
喫煙により亢進した凝固能の抑制…吉野	二男…1068(10)
手術前のスクリーニング検査の有用	
性……………吉野	二男…1068(10)
経済的な交差試験の方法……………吉野	二男…1076(10)
姉妹三人に発生した多発性骨髄腫…吉野	二男…1076(10)
医師の診察室での臨床検査について	
……………吉野	二男…1483(12)
血清ビリルビン値……………吉野	二男…1491(12)
診療所での臨床検査にも規則……………吉野	二男…1509(12)
診療所の検査に対する対策……………吉野	二男…1509(12)
医師の診察室で検査をする臨床検査	
技師……………吉野	二男…1521(12)
肥大型心筋症における左室交互脈…谷川	直…1556(12)
慢性心房細動患者の心拍数のコント	
ロールに対する薬剤の効果……………谷川	直…1556(12)
筋電図診断のための浅腓骨神経伝導	
検査……………小島	進…1566(12)
メチレンブルーによる尿酸の酸化…村上	賢二…1614(13)
腎障害の新しいマーカー ABP ……村上	賢二…1614(13)
加齢に伴う生理的III音の消失の原因	
……………谷川	直…1662(13)
DDD ペースメーカー植え込み後の	
逆方向伝導の発生……………谷川	直…1662(13)

診療室で使える臨床検査器械……………吉野	二男…1669(13)
胎児および母体の血液の化学成分…吉野	二男…1669(13)
AIDS と LD ………………吉野	二男…1698(13)
LD のアイソザイム LD-6 ………………吉野	二男…1698(13)
軽度の手根管症候群の診断における	
正中・尺骨神経吻合……………小島	進…1714(13)
合成知覚、筋活動電位の大きさと神	
経の長さとの関係……………小島	進…1714(13)

そ の 他

〔学会印象記〕

第 25 回日本エム・イー (ME) 学会	
……………山下 安雄	857(8)
第 35 回日本臨床衛生検査学会	
情報システム部門を中心として	
……………加瀬沢信彦	1030(9)
多くを聞いて多くを知ろう；	
“Ask much, Know much” ……石井美岐代	1031(9)
示説発表の運営にひとくふうを	
……………山本 誠一	1032(9)
標準化に向けて……………前畑 英介	1033(9)
第 9 回国際細胞学会議	
……………西 国広・平田 守男	1086(10)
第 27 回日本臨床ウイルス学会……………阪上 賀洋	1104(10)
第 18 回日本臨床検査自動化学会……………櫻林郁之介	1622(13)
第 33 回日本臨床病理学会……………三宅 一徳	1647(13)

〔お知らせ〕

細胞診スクリーナー養成所募集要項	
(1986 年度)……………	145(2)
第 1 回(昭和 61 年度)臨床検査精度	
管理奨励会研究奨励金交付募集	
要項……………	232(3)
第 3 回 TDM 研究会総会……………	299(3)
第 16 回平衡機能検査技術講習会……………	335(4)
『検査と技術』臨時増刊号「形態学的	
検査と技術—血液と病理」……………	389(4)
青年海外協力隊 1986 年度春の募集	
要項……………	511(5)
第 4 回日本臨床化学会分析部会関東	
支部学術集会……………	513(5)
『検査と技術』臨時増刊号「形態学的	
検査と技術；血液と病理」……………	536(5)
第 6 回日本臨床化学会夏期セミナー……………	560(5)
『検査と技術』臨時増刊号「形態学的	
検査と技術；血液と病理」……………	719(7)
昭和 61 年度北里大学衛生学部公開	
講座；組み換え DNA 実験技術	
講習会……………	736(7)
昭和 61 年度臨床病理学研究振興会	
研究奨励金授与候補者の推薦ご	
依頼……………	760(7)
第 6 回腫瘍マーカー研究会……………	815(8)

臨床検査技術研修会発足.....	899(8)	決定.....	1585(12)
第16回日本脈管作動物質学会.....	1095(10)	昭和61年度臨床病理学研究振興会	
昭和61年度第19回細胞検査士資格		研究奨励金交付研究者決定.....	1600(12)
認定試験実験要領.....	1146(10)	神経芽細胞腫研修会の開催.....	1646(13)
昭和61年度一級臨床病理技術士第		1987年度の新設欄紹介.....	1664(13)
31回資格認定試験実施要領.....	1150(10)	〔ニュース〕	
『臨床検査』臨時増刊号30周年記念		第14回樫田賞授賞式.....	872(8)
号「先端技術と臨床検査」.....	1567(12)	〔追悼〕	
青年海外協力隊1986年度秋の募集		故樫田良精先生を偲んで.....山中 學...	392(4)
要項.....	1579(12)	〔その他〕	
昭和62年度臨床病理学国際交流奨		第18回“私のくふう賞”発表	260(3)
励会海外留学補助金交付研究者			